

## <TOP MESSAGE>

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度上半期の我が国経済全般は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きがみられ、緩やかに回復しています。しかしながら、先行きについては、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要です。

当社が属する不動産流通業界におきましては、中古住宅市場を中心に底堅い取引が見られました。新築住宅価格の高騰が続いていることを背景に、特に都市部においては消費者の需要は割安感のある中古物件へ一層シフトする傾向が強まっています。しかしながら、首都圏中古マンション市場では、成約件数が前年同月比で減少に転じる月も見られる一方で、成約平米単価は40ヶ月以上にわたり前年同月比での上昇を続けるなど価格の底堅さも示しています。また、長期金利の上昇に伴う、住宅ローンの固定金利上昇により、消費者の購買意欲に影響を及ぼすことが懸念されます。

このような厳しい環境ではありますが、サステナブルな経営と、「住まいを想う仕事、人生を輝かせる使命。」というブランド理念を大切にして、加盟店各社と共に不動産流通市場の発展に寄与して参りたいと考えております。

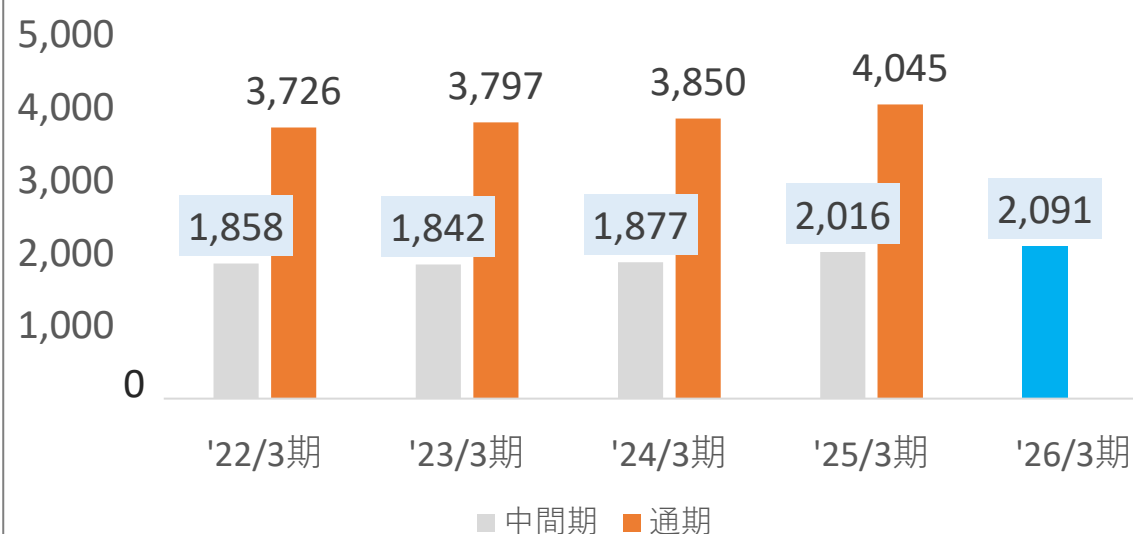
株主の皆様には、引き続きなお一層のご支援、お引き立てを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



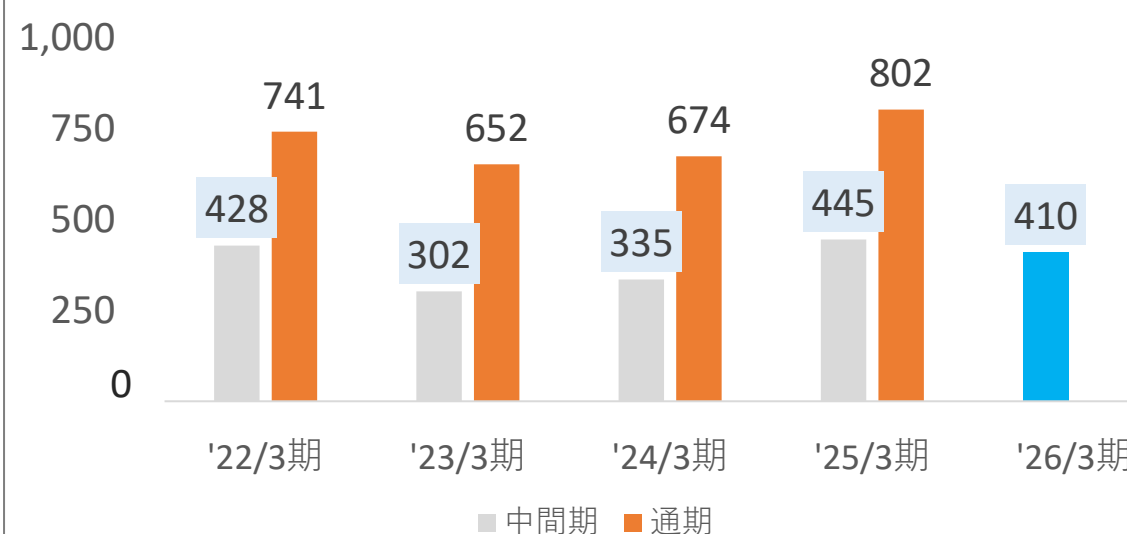
代表取締役社長

高坂 勇介

営業収益(百万円)



当期純利益(百万円)



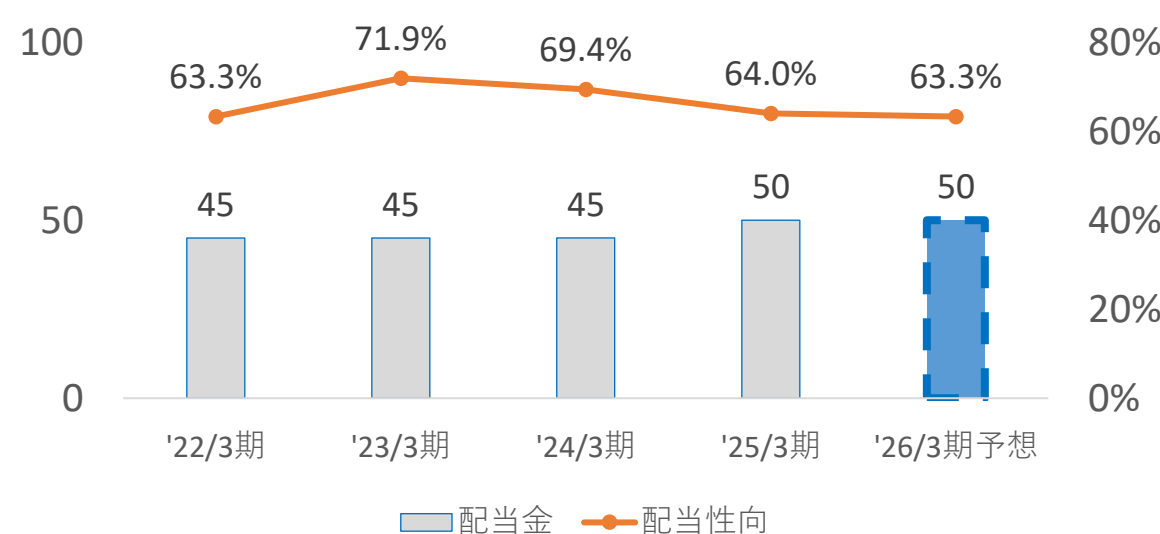
## <株主様への還元について>

当社は、安定的な配当を継続して実施することを配当方針としております。

当期は、中間配当金につきましては、1株あたり25円とし、12月1日よりお支払いすることといたしました。なお、2026年3月期の通期では、中間配当金とあわせ、1株につき前年同額の50円の配当を予定させていただきます。

(単位:円/株、%)

1株当たり配当金/配当性向



## IR関連ホームページのご案内

IR情報

<https://www.century21japan.co.jp/ir/>

決算説明会資料

<https://www.century21japan.co.jp/ir/library/briefing.html>



CENTURY 21